

日米投信週次概況(2024年5月8日週)

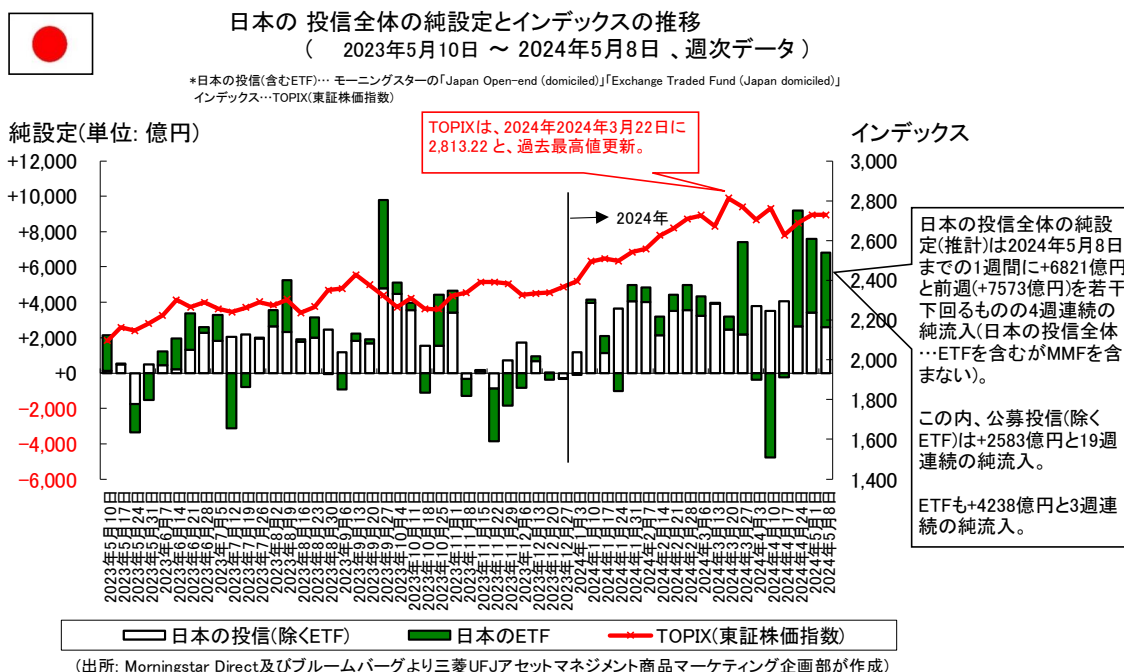
NISAのお手本・英国でISAシーズンに株式ファンドへの流入が前年比5倍の1兆円！ 米国ではMMFの抜本的改革でウルトラショートボンドへ流入!?

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufj.jp)
窪田真美 (mami1-kubota@am.mufj.jp)

- NISAのお手本・英国でISAシーズンに株式ファンドへの流入が前年比5倍の1兆円！
日本と同様、米国株やグローバル株が人気.....p.1
- 米国ではMMFの抜本的改革でウルトラショートボンドへ流入!?......p.3

●NISAのお手本・英国でISAシーズンに株式ファンドへの流入が前年比5倍の1兆円！ 日本と同様、米国株やグローバル株が人気

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年5月8日までの1週間に+6821億円と前週(+7573億円)を若干下回るものの4週連続の純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。この内、**公募投信(除くETF)は+2583億円と2024年始まってから19週連続の純流入**。ETFも+4238億円と3週連続の純流入となった。



年始から純流入が続く公募投信(除くETF)について最新5月8日週の純設定額を分類別に見る。純流入1~5位は北米株、グローバル株、インド株、日本株大型ブレンド、日本株大型バリュー。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2024-05-08現在
 *ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+130,477	+78,119	+393,959	17,220,498	北米株
2	World Equity	+98,746	+67,673	+304,725	15,297,738	グローバル株
3	India Equity	+25,770	+29,920	+108,136	2,782,400	インド株
4	Japan Large-Cap Blend Equity	+8,506	+28,962	+75,078	4,648,612	日本株大型ブレンド
5	Japan Large-Cap Value Equity	+8,053	+17,014	+57,933	1,311,510	日本株大型バリュー
6	Moderately Aggressive Allocation	+7,768	+10,785	+39,694	4,118,228	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	Emerging Multiple Country/Area Equity	+6,102	+10,388	+19,597	1,264,893	エマージング株-複数国/地域
8	Moderate Allocation	+3,510	+9,987	+24,098	3,321,056	モデレート・アセットアロケーション
9	World Bond	+3,425	+4,531	+19,843	1,680,858	グローバル債
10	Japan Bond - Long/Intermediate	+3,424	+10,240	+35,021	3,937,401	日本債-中長期
88	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-1,968	+2,456	+4,984	1,264,934	日本中小型バリュー株
89	World Equity - JPY Hedged	-2,126	-3,472	-14,746	676,238	グローバル株-円ヘッジ
90	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-2,471	-1,530	-6,672	1,458,634	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
91	Japan REIT	-2,713	+874	+5,700	2,416,322	日本REIT
92	Trading - Leveraged/Inverse Equity	-2,886	+1,000	+25,069	655,449	トレーディング-レバレッジド/インバース株
93	North America Equity - JPY Hedged	-3,105	-3,470	-17,991	711,988	北米株-円ヘッジ
94	Japan Large-Cap Growth Equity	-4,800	+20,522	+154,006	5,846,129	日本株大型グロース
95	World Specialty Equity	-5,060	-2,148	-62,560	11,786,390	グローバル・特定テーマ/セクター株
96	World ex-Japan Equity - JPY Hedged	-7,670	-107	-8,104	396,871	グローバル株-日本を除く-円ヘッジ
97	World ex-Japan Equity	-11,277	+32,135	+70,251	10,418,876	グローバル株-日本を除く
全97分類の合計		+258,325	+340,029	+1,269,414	123,054,037	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-0.84	+0.69	-1.32		
S&P500		+3.39	-1.04	+0.58		
MSCI ワールド		+3.13	-0.83	+0.67		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

米国株式や全世界株式の人気は引き続きNISA/少額投資非課税制度が大きな買い材料となっている。1位の北米株だが、NISAのモデルとなった英国ISA/Individual Savings Accounts/個人貯蓄口座でも北米株が人気だ。2024年5月10日付Financial Timesは、「ファンドネットワーク(プラットフォーム会社)、カラストーン社の最新ファンドフローインデックス(Calstone's FFI)によれば、2024年2月15日から2023/2024年度のISAシーズン終了となる4月5日までの間に、株式ファンドへの純流入額は52億ポンド/約1兆円に達した。これは前年同期の5倍で、過去10年間で最高水準となった。北米株(つまり米国株)やグローバル株、欧州株に流入した。」(強調下線は当レポート筆)

者、2024年5月10日付 Financial Times「Isa season flows rise fivefold」~

<https://www.ft.com/content/fa31892b-311c-44a9-b471-5fc2f3c9b0d6>, 2024年5月8日付Calstone「Record ISA

Season: Booming Inflows to Equity Funds Soar to 5x 2023 level」~

<https://www2.calstone.com/ffim24>と報じていた。

英国投資信託協会/IAの最新統計で英国ISAファンドの2024年3月純流入を見た所、北米株やグローバル株の人気は高かった(

<https://www.ia.org.uk/industry-data/fund-statistics/full-figures>、2024年4月22日付日本版ISAの道

その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド~『NISAのお手本』英ISAでハイテク株やインド株

が人気! ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると...

~)および2024年5月13日付日本版ISAの道 その401「日米印株式ファンドの総経費率を日米

比較! 世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キャピタルゲイン税

/CGTで総経費率が4~6%台?」~ <https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/>)o

英国のISA/Individual Savings Accounts/個人貯蓄口座(株式型がNISAのモデル)ファンド全47分類中、2024年3月の純流入の大きい20分類(ネット証券/プラットフォーム5社)

順位	英国投資信託協会分類/IA Sector (IA=Investment Association/投資協会)		ISAファンドの純流入(5大ネット証券) /Net ISA Sales on Five Platforms (単位:百万英ポンド)			
			2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年1~3月
1	グローバル株	Global	-17.6	+47.6	+103.1	+133.1
2	ボラティリティ・マネージド(※1)	Volatility Managed	+40.0	+34.9	+88.5	+163.4
3	北米株	North America	+8.0	+30.0	+73.2	+111.2
4	グローバルバランス(株式40-85%)	Mixed Investment 40-85% Shares	-23.5	-5.8	+28.1	-1.2
5	ハイテク株	Technology and Technology Innovation	+29.3	+25.8	+24.7	+79.8
6	英ポンド建て社債	£ Corporate Bond	-1.2	+6.9	+23.0	+28.7
7	グローバル好配当株	Global Equity Income	-1.2	+1.2	+16.1	+16.1
8	短期マネーマーケット	Short Term Money Market	+2.1	-3.7	+15.7	+14.1
9	国債	Government Bond	+3.3	+4.6	+15.5	+23.4
10	日本株(小型株除く)	Japan	+4.3	-1.3	+11.3	+14.3
11	社債	Corporate Bond	-0.8	+0.4	+8.9	+8.5
12	英国ストラテジック・ポンド	£ Strategic Bond	-10.4	-10.2	+8.8	-11.8
13	欧州株(英国株除く)	Europe Excluding UK	-15.3	-23.7	+8.0	-31.0
14	北米小型株	North American Smaller Companies	+3.3	-1.9	+4.9	+6.3
15	インド株	India/Indian Subcontinent	+4.1	+8.8	+4.1	+17.0
16	インフラ株	Infrastructure	-8.5	-9.9	+0.9	-17.5
17	コモディティ&天然資源	Commodities and Natural Resources	-1.1	-3.8	+0.8	-4.1
18	欧州株(英国株含む)	Europe Including UK	-0.4	-0.1	+0.7	+0.2
19	グローバル・エマージング株	Global Emerging Markets	-6.1	-1.0	+0.7	-6.4
20	グローバル・エマージング債-ブレ	Global Emerging Markets Bond - Blend	+0.3	+0.7	+0.5	+1.5
全47分類の合計			-179.2	-225.6	+233.0	-171.8

※1: ボラティリティ・マネージド/Volatility Managed...例えば、英国ラスボーンズ・アセット・マネジメント/Rathbone Asset Management社の「Rathbone Multi-Asset Defensive Gr S Acc」で、株式・債券・オルタナティブ等を使い消費者物価/CPI+2%リターンを目指すアクティブのオープンエンド・ファンド2023年12月1日付日本版ISAの道 その307「M&Aは本家本國どし投入投資評価を参考に~英国ISAではハイテクのアクティブファンドが人気、ISA改革で複数販売会社と競戦とインベスティブ・プラットフォームの売上増幅ファンドLP投資が可」~

https://www.morningstar.com/news/uk/2024/04/24

(出所: 英国投資信託協会/Investment Association/IAより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

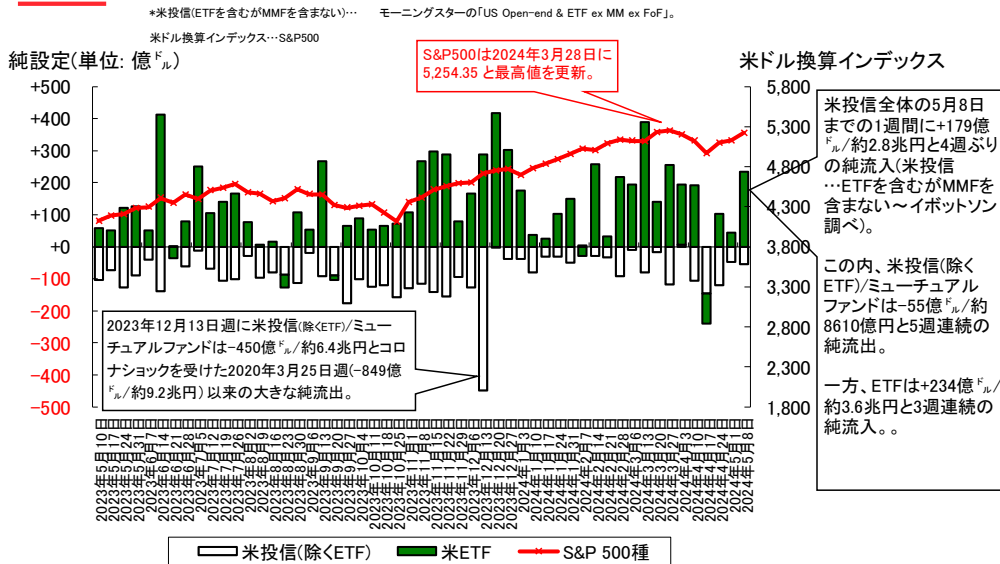
●米国ではMMFの抜本的改革でウルトラショートボンドへ流入!?

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年5月8日までの1週間に+179億^{ドル}/約2.8兆円と4週ぶりの純流入
 (米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-55億^{ドル}/約8610億円と5週連続の純流出**。一方、**ETFは+234億^{ドル}/約3.6兆円と3週連続の純流入**となった(継続的なミューチュアルファンドの純流

出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ https://www.am.mufj.jp/report/investsite/column_211127.pdf)



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
 (2023年5月10日～2024年5月8日、週次データ)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年5月8日週の投信全体純設定額を分類別に見る。米国株は+61億^{ドル}、外国株は+14億^{ドル}と、ともに5週ぶりの純流入。セクター株は-14億^{ドル}と5週連続の純流出、コモディティは-0.1億^{ドル}と3週ぶりの純流出。債券は+113億^{ドル}と3週連続の純流入で加速傾向。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2024-05-08現在
 *ETFを含むがMMFを含まない。週次推計のため、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万 ^{ドル})	純流入 前週 (百万 ^{ドル})	純流入 4週計 (百万 ^{ドル})	純資産 (百万 ^{ドル})	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+3,268	+1,285	+1,013	4,016,509	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Ultrashort Bond	+3,205	-7	+6,811	304,320	米国超短期債
3	High Yield Bond	+2,370	+693	-90	266,631	米国ハイイールド債
4	Bank Loan	+1,243	+700	+1,955	71,370	米国バンクローン
5	Small Blend	+1,233	-1,144	-3,181	424,155	米国小型ブレンド株
6	Muni National Interm	+1,230	+385	+1,566	225,063	米国全米地方債
7	Intermediate Core Bond	+1,223	+1,290	+3,011	643,272	米国中長期コア債
8	Large Growth	+1,204	+104	-366	1,985,168	米国大型グロース株
9	Corporate Bond	+1,036	-696	-1,530	153,045	社債
10	Foreign Large Blend	+983	+201	+1,083	971,103	外国大型ブレンド株
21	India Equity	+336	+164	+608	17,638	インド株
29	Japan Stock	+118	-25	+172	37,440	日本株
112	Equity Precious Metals	-250	-274	-1,297	30,906	貴金属株
113	Intermediate Government	-257	+1,856	+1,729	198,122	米国中長期国債(4-6年)
114	Mid-Cap Value	-269	-86	-1,803	266,247	米国中型バリュース株
115	Health	-284	-789	-1,530	132,192	ヘルスケア株
116	Technology	-385	-51	-552	316,204	米国テクノロジー株
117	Intermediate Core-Plus Bond	-422	+784	-1,109	578,932	米国中長期コアプラス債
118	Commodities Focused	-450	-130	-589	125,003	商品・フォーカス
119	Equity Energy	-459	-384	-1,061	68,703	エネルギー株(非MLP)
120	Trading-Leveraged Equity	-621	-31	+854	86,034	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
121	Real Estate	-793	-228	-1,637	83,365	米国REIT
	全121分類の合計	+17,820	-467	-8,620	18,826,350	
	指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX(東証株価指数)	-0.84	+0.69	-1.32		
	S&P500	+3.39	-1.04	+0.58		
	MSCI ワールド	+3.13	-0.83	+0.67		

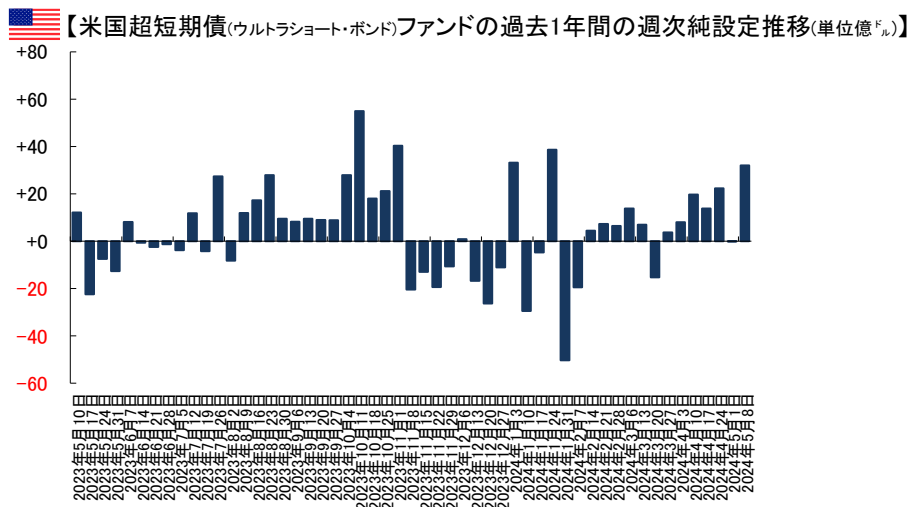
(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は前頁の通り。**純流入1~3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)、米国ハイイールド債。**日本籍投信で人気のインド株は+3.3億ドル、日本株は+1.2億ドルと、ともに純流入。

前述通り、債券は+113億ドルと3週連続の純流入で加速傾向だが、2位の米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)を見る。**最新2024年5月8日週に米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)ファンドは+32億ドル/約5000億円と2週ぶり純流入、直近4週合計では+68億ドルと1月以来の大きな純流入で全121分類中1位と加速傾向**(最新週+32億ドルのうち、ETFが+29億ドルと7週連続の純流入、米国ではミューチュ

アルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与～米国と日本のアクティブファンドとバッシュピ(インデックス)ファンド～」～ https://www.am.mifc.jp/report/investigate/column_231127.pdf)



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)への流入だが、米国の「プライムMMF」に代わる商品として選ばれている可能性がある。機関投資家向けプライムMMF/institutional prime fundsと機関投資家向け免税(地方債)MMF/institutional tax-exempt money market fundsは1日当たり純解約が純資産の5%を超えた場合、信託財産留保額/liquidity feesの徴収義務がある。2024年5月9日付ブルームバーグ/Bloombergは「**米国の6兆ドル(約932兆円)規模のマネー市場で、ファンドが保有資産のシフトに動き始めた。米証券取引委員会(SEC)のマネー・マーケット・ファンド(MMF)ルール見直しに伴い、国債の需要を高め、リスクのより高い資産が犠牲になりかねない新規則が年内に導入される。…(略)…。新規則導入に伴う10月以降の影響を避けるため、最大手二つを含む五つほどのファンドが4月半ば時点で、『ガバメントMMF』(現金と国債、国債を担保とするレポにほぼ特化)に転換するか、完全に清算する予定を明らかにした。**」(2024年5月9日付Bloomberg「米MMF、ガバメント転換か清算の動き」SE

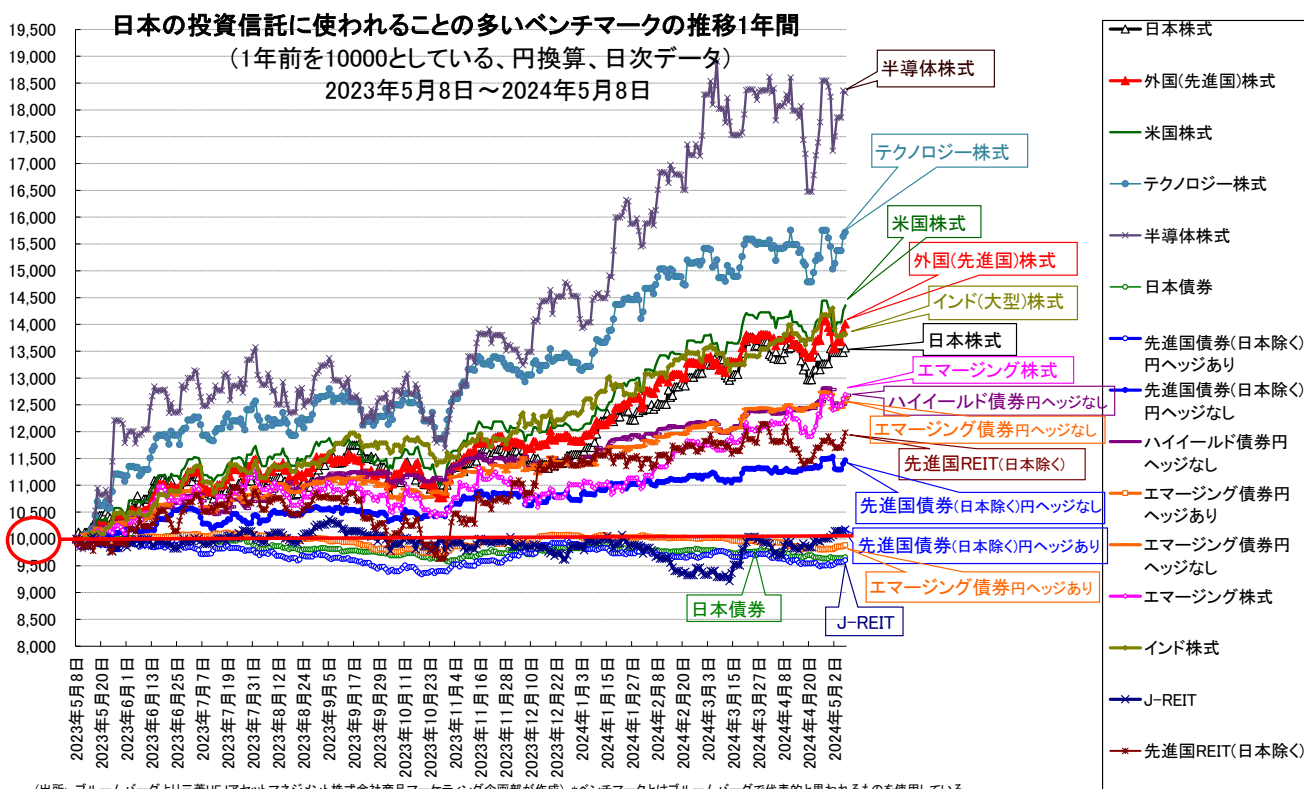
FUND	ASSETS UNDER MANAGEMENT	PLANNED CONVERSION/LIQUIDATION DATE
American Funds Central Cash Fund	\$144.4 billion	Conversion on or about June 7
Vanguard Market Liquidity Fund	\$75.9 billion	Designated government money market fund in March 2024
Federated Hermes Institutional Money Market Management	\$1.2 billion	Liquidation on or about July 19
Goldman Sachs Financial Square Money Market Fund	\$1.6 billion	Liquidation on or about Sept. 16
Goldman Sachs Financial Square Prime Obligations Fund	\$2.9 billion	Liquidation on or about Sept. 16

Cの流動性手数料に備え～ <https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-05-09/sec-likely-to-tighten-mmf-rules>、 <https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-05-09/sec-likely-to-tighten-mmf-rules>

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-05-09/sec-likely-to-tighten-mmf-rules>と報じている。

2023年7月12日にSECはマネー・マーケット・ファンド改革/Money Market Fund Reforms/MMF Reforms(Bloombergは「抜本的規制改革/Biggest Regulatory Revamp」と呼ぶ)最終案を採択、2024年6月11日までに遵守する事となっている(2023年7月24

日付日本版ISAの道 その384「資産運用立国、国際金融センターの為の資産運用改革！中国でも資産運用改革(公募ファンド運用業全面的改革法) 米国では投信改革の前にMMFの抜本的改革」～ https://www.am.mifc.jp/text/outline_230721_2.pdf)



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会